

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### 憲法裁判所による判断

・20日、憲法裁判所は、議会過半数である議員51名の賛成による大統領選出を可能とする法律を新たに採択することの可否につき判断を求めるA EIの提案に関し、これを不可とする審議結果を発表。プルベレ憲法裁判所長官は、同判断には6名中5名の裁判官が賛成した旨発言。

・20日、フィラト首相は、憲法裁判所の判断に関わらず、大統領選出方法の変更は憲法規定に沿って行うべきとする自由民主党の立場に変更はない旨発言。共産党は、同結果を歓迎し、速やかな大統領選出協議の開始を要求する旨の声明を発表。一方、ギンプ自由党党首は、憲法裁判所の判断は尊重するしつつ、同結果には落胆した旨発言。

#### 大統領選出に向けた動き

・18日、ヴォローニン共産党党首は、期限前議会選挙の実施が必要であるとし、共産党は大統領選挙においてグレチャニ前首相以外を支持することはない旨発言。一方、19日、フィラト首相は、再度の期限前議会選挙の実施は何としても回避するべきとし、今秋中の大統領選出を目指す旨発言。

・21日、ギンプ自由党党首は、フィラト首相のルーマニア訪問のために、同日予定されていたA EI評議会は延期となった旨発表。自由民主党はA EI結成の際の合意に則り大統領選出に向け協力すべきであり、協力を拒否するのであれば連立から脱退すべきである旨指摘。

・22日、ギンプ自由党党首は、独自の憲法改正案を議会に登録する意向である旨発言。一方、23日、ストリレツ自由民主党議会会派代表は、自由民主党は憲法改正に賛成であるが、同改正は大統領選出後に行うべきである旨発言。

・23日、プルベレ憲法裁判所長官は、ルプ大統領代行は前回の議会解散から一年となる28日までに議会の解散する義務がある旨発言。一方、同日、ルプ大統領代行は、28日までに議会の解散する意向はない旨発言。

・23日、A EI各党代表は、A EI評議会実施後、大統領選出に向けた解決策を確定させるための対話を共産党に提案する旨発表。これに対し、24日、ヴォローニン共産党党首は、共産党は対話に関するA EIの提案を受け入れるとしつつ、同交渉はA EIとではなく各政党と個別に行う意向である旨発言。

### 2. 経済

#### マクロ経済

・20日、経済省は、2011年のGDP成長率予測を5%から6%に、インフレ率予測を7.9%から9.5%に引き上げ。

・21日、IMFは、モルドバのGDP成長率予測を、2011年は5%から7%に引き上げ、2012年は4.8%から4.5%に引き下げ。

#### IMFミッションの訪問

・21日、モルドバ訪問中のIMFミッションは、ルプ大統領代行と会談。ゲオルギエフ同団長は、モルドバはマクロ経済の安定において成功を収め経済成長過程にあるが、政府は今後も経済改革を継続する必要がある旨指摘。

#### 財政

・22日、財務省は、歳入214.94億レイ(約18.41億ドル)、歳出221.83億レイ(約19億ドル)を想定した2012年予算案を発表。

#### 農業

・19日、ブマコフ農業・食品産業相は、連邦獣医・植物衛生検査局に対して、175社のロシア市場への野菜・果実製品輸出者リストを提出した旨発言。21日、同局は同175社を承認。

### 3. 外政

▼22日～23日、フィラト首相のルーマニア訪問

・22日、フィラト首相は、バセスク・ルーマニア大統領と会談。二国間共同プロジェクト、ルーマニアの対モルドバ支援、沿ドニエストル情勢等につき協議。

・22日、フィラト首相は、ブロク・ルーマニア首相と会談。二国間関係、モルドバの欧州統合、沿ドニエストル問題解決プロセス等につき協議。双方は、11月に両国政府合同会合を開催することで合意。

・23日、フィラト首相は、プゼク欧州議会議長及びチョロシュ農業・農業開発担当欧州委員と会談。モルドバの欧州統合、国内改革、東方パートナーシップ首脳会合、モルドバの欧州市場アクセス、EU査証廃止等につき協議。

### 4. 沿ドニエストル

22日、「5+2」非公式協議の開催(於モスクワ)

・同日の協議において、公式交渉プロセスの再開が決定。

・22日、モルドバ政府は、公式交渉プロセス再開決定に際し、「5+2」者フォーマットの各参加者に謝意を表明し、沿ドニエストル問題の最終的な解決を目的に平和的かつ恒久的な解決案を見出すべく努力を継続する旨のプレスリリースを発表。

・22日、ウクライナ外務省は、「5+2」者公式交渉再開を歓迎、いかなる解決案も「5+2」者フォーマットの仲介者及びオブザーバーの仲介により紛争当事者間で調整され、モルドバの一部である沿ドニエストルの特別な地位を既定すべ

きとするプレス・リリースを発表。

・22日、米国務省は、「5+2」者公式交渉再開を歓迎、モルドバの主権と領土一体性を支持した上で、沿ドニエストルがモルドバ内において特別な地位を付与されるという包括的合意を見出すための「5+2」協議を支持する旨のプレス・リリースを発表。

#### 「大統領」選挙に向けた動き

・17日、「革新」党は、同日行われた党大会において、シェフチューク「最高会議議長」を同党の大統領候補に選出。同党大会には、モロゾフ露国家院第一副議長を代表とする、「統一ロシア」党代表団が出席、「革新」党の成果を評価する旨のプーチン露首相メッセージを伝達。一方、19日、外務・欧州統合省は、同メッセージは沿ドニエストルの分離派に対するモラル・サポートと解釈できるとし、クジミン駐モルドバ露大使に注意喚起。

・21日、スミルノフ「大統領」は、「大統領」選挙に出馬する意

向である旨発言。

## 5 . 防衛

・23日、ルプ大統領代行は、軍隊内で発生した火器による死亡事故を受け、適切な訓練不履行及び監督責任により、ドミニク参謀総長兼軍司令官を解任する手続を開始した旨発言。

## 6 . 二国間関係

・20日、フィラト首相は、伊沢大使と会談、対モルドバ支援への謝意を表明、東日本大震災後の状況及び日・モルドバ二国間関係等につき協議。

・20日、ウサトウイ保健相と伊沢大使は、対モルドバ草の根・人間の安全保障無償資金協力「オルヘイ地区病院における医療機材改善計画」、同「沿ドニエストル紛争安全保障地帯レジナ地区における医療環境改善計画」、同「モルドバ共和国における母子保健環境改善計画」及び同「ロゾヴァ村初等教育機関における給食環境改善計画」の引渡式を実施。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。  
(了)